

シンポジウム「人の移動・移住とその記録——陸と海の近世アジア」

日時: 2014年9月20日(土)・21日(日)

場所: 北海道大学文系総合教育研究棟(W棟)201・202室

9月20日(土) 講演会

講演 45分+質疑 15分

13:00 趣旨説明: 守川知子

〈司会: 守川知子〉

13:15-14:15 間野英二(京都大学名誉教授)

「原典史料の面白さ——『バーブル・ナーマ』の魅力」

14:30-15:30 三木 聰(北海道大学文学研究科教授)

「明清交替期の地方士大夫と旅——福建寧化県の李世熊を中心として」

15:45-16:45 重松伸司(追手門学院大学名誉教授)

「ベンガル湾海域のアルメニア海商たち」

18:30 懇親会 サッポロビール園(会費 4000円)

9月21日(日) ワークショップ

報告 30分+質疑 15分

9:00 趣旨説明

〈司会: 島田竜登〉

9:10-9:55 守川知子(北海道大学准教授)

「シャムにわたったイラン人——その出自を中心に」

10:00-10:45 長島 弘(長崎県立大学名誉教授)

「近世インドの国際港市スーラトの諸コミュニティ——当時の地図を手がかりに」

10:50-11:35 真下裕之(神戸大学准教授)

「近世南アジアにおける人的移動の記録と記憶」

〈司会: 守川知子〉

13:00-13:45 木村 暁(筑波大学特任研究員)

「ブハラ王権下のシーア派禁制——マンギト朝の対イラン聖戦と徙民政策をめぐって」

13:50-14:35 今松 泰(京都大学客員准教授)

「オスマン海軍提督の記録——インドからイスタンブルへの帰還」

14:40-15:25 島田竜登(東京大学准教授)

「近世バタヴィアのモール人について」

15:45-16:00 コメント: 佐藤健太郎(北海道大学准教授)

16:00-17:00 総合討論

主催: 科学研究費基盤(B)「シーア派ネットワークの展開と近世アジア世界の再検討」

共催: 北海道大学東洋史談話会